

平成28年度福岡市小図研 8月定例会記録

文責：安部春伊（和白東小学校）

8月定例会の内容

日時：平成28年8月27日（土）

13:00～16:30

場所：福岡市立横手小学校図工室

内容：実技研修 13:00-15:30

「紙版・木版・ドライポイントの指導」

講師 沼瀬 真寿美 先生

山口 亮大 先生

授業研究部会 15:30-16:30

参加人数：50人

版画の基本の「基」について

用具について

「三角刀はするどく細い線」など子どもの思いに合わせて使いたいものを選ぶようにする。用具の説明には、指導書に付いているDVDを活用する。



刷りの場について



- 版の位置と紙の位置がわかるようにビニルテープの色を変えて貼る工夫をするとよい。

インクの準備・刷り



- PPC用紙（A3）の包み紙の裏がつるつるになっているのを利用して、練り板にしくとインクが端につかなくてよい。※片付けも簡単



- ※インクを練るときは、ねちねちという音がちりちりに変わるまで練るのがポイント



バレンの使い方

- 真ん中からバレンを放射線状に、小さな円を描くように動かす
- ※ 動かすときには、ひじをまっすぐのばすと手が痛くならない。

実技研修

「紙版・スチレンボードの指導」

講師：長住小学校 沼瀬 真寿美 先生

1 紙版画

指導にあたって気をつけること

- ◎ つくった版は印刷すると反転することを伝える。
- 紙版に使う紙などの材料は厚めのものの方が輪郭がはっきりする。
- 接着はでんぷんのりがよい。のりなどの接着材がついているところは、インクが付きにくくなる。
- ◎ バレンは中央から外に向かって円を描きながらこする。

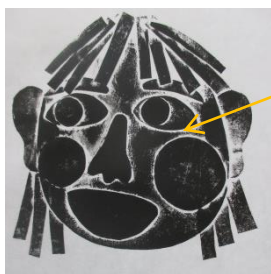
※ ◎の項目はスチレンボード版画でも共通する内容

紙版のつくりかた

1. もとになる形をつくる
2. 部品をつくる

【ポイント】

隙間が狭いとインクがのらないので、気を付けて指導する。



目とほほの間など少し隙間をあけてはるようにすると、インクがのる。

3. のりやボンドをつけて部品をはる

【ポイント】

つくった部品をホワイトボードにのせ、自由に動かしながら、置き方を工夫することができるようになる。



4. インクを版につける。
5. 台紙に版をのせてうつす紙をかぶせる。
6. バレンでこする。

2 スチレンボード

木版画と同じように、削ったところの色が白く残る。スチレンボードは100円ショップなどでも購入できる。

指導にあたって気をつけること

- 柔らかいので、取り扱いに気をつける
- ペンを使う際は、水性ペンを使う。油性ペンを使うとボードが溶ける。
- 印刷するときは、版画用インクを使う。絵の具などを使用する場合は水をはじくので、界面活性剤入りの洗剤を数滴混ぜるとよい。

【スチレンボードに型を付けるための材料例】



フォークを使うと、曲線もスムーズにできる。

スチレンボードを背景にする工夫もある。

